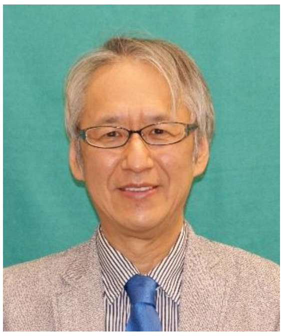
岡谷市民病院

地域医療連携だより

令和８年
春号

岡谷市民病院は、「思いやり」を基本理念とし、ていねいで質の高い医療と心温まる患者サービスを提供し、地域の皆さまに信頼され親しまれる病院を目指します

病院事業管理者就任のご挨拶



病院事業管理者
病院長
内山　茂晴

日頃より岡谷市民病院の運営に格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。この度、天野病院事業管理者の退任に伴い、令和８年度より病院事業管理者に就任いたしました内山茂晴でございます。病院長との兼務になりますが、前任者同様にご支援を賜ります様何卒よろしくお願い申し上げます。

当院は急性期から回復期、緩和ケア、在宅医療までを担う多機能型病院として、地域完結型の医療体制を支えています。高度医療機関との緊密な役割分担のもと、地域全体で質の高い医療を提供することに尽力しております。

昨年は、県内初となる国産手術支援ロボット「Saroa」を消化器外科に導入し、低侵襲で精緻な手術の推進により、地域における先進医療の一翼を担っております。また整形外科では上肢外科の専門治療に加え、骨折リエゾンサービス（FLS）を軸とした「二次性骨折予防」にも体系的に取り組んでいます。

当院の最大の強みは、患者さんの病態に応じた切れ目のない支援にあります。今後も多機能性と先進技術を活かし、地域の先生方との連携を一層強化して、患者さんの早期回復と健康寿命の延伸に寄与してまいる所存です。引き続き格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地域医療支援部長就任のご挨拶

この度、地域医療支援部長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

私はこれまで救急医療及び災害医療に携わり、急性期医療の経験を積んでまいりました。救急の現場では限られた時間と情報の中で最善の判断を行うために、多職種・他機関との連携がいかに重要であるかを学んできました。また災害医療においては、平時からの備えと地域全体での連携体制の構築が、いざというときの医療の質を大きく左右することを実感しています。

地域医療支援部においては医療機関同士の円滑な連携を推進するとともに、平時の医療はもちろんのこと、有事の対応力の強化や災害時にも機能する医療体制の構築を意識して取り組んでまいります。地域の医療機関、行政、関係機関の皆様と顔の見える関係を築きながら、信頼に基づいたネットワークを広げていくことを大切にしていきたいと考えております。

地域の皆様に安心して医療を受けていただける体制づくりに微力ながら尽力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

地域医療支援部長
大橋　慎一郎